

# H26年度 中曽根小学校 学校課題解決プラン



○教育関係法規等・日本国憲法・教育基本法・学校教育法・学習指導要領・県小学校教育課程編成要領・埼玉県教育行政重点施策・指導の重点・努力点等

**学校教育目標**  
「なかよく(徳)かしく(知)ねばりよく(体)」

○教期待される児童像  
・地域の実態・児童の実態  
・保護者の願い・教師の願い  
・学力向上に係る「学校課題」

各教科の指導の重点・努力点  
・各領域の指導の重点から自校の重点を設定  
・各主任を中心に学期毎、教科部会で見直し、各調査項目を検証し、手立てを講じる。

学校経営方針(学力向上に係る方針)共に遊び 共に学び 共にきたえる  
子ども達に「夢・感動・生きがい」を  
「夢」を支える 確かな学力  
「感動」ある体験で 心豊かに  
「生きがい」の基盤となる 健康と体力

改善状況を把握する指標  
①「学力」読み・書き・計算  
「教育に関する3つの達成目標」例題  
正答率を限りなく100%を目指す  
②「規律ある態度」  
身の回りの整理整頓・くつそろえ  
あいさつ等の指導の徹底  
③「体力」50M走・投力・握力  
全学年県平均を目指す  
「学力学習状況調査」  
全ての教科で80%超えを目指す

## 日々の授業を支える取組

◎指導時間の充実  
・年間指導計画と日課表の工夫、改善を図る。  
・1授業一工夫(板書、掲示教育の充実)  
・児童の興味関心、学習の現状に即した多様な指導形態の工夫(少数指導、T.T、ゲストティーチャーの活用)学習課題の創造と評価の工夫  
・話し合い活動の積極的導入、学び合いの姿勢の構築と努力を要する児童への意欲喚起を図る。  
・個に応じた学習時間の確保(課外時間、長期休業期間を利用した、個別指導・補充学習の一層の充実を図る。

《学力における本校の課題》  
・学習規律の確立と課題解決に向けての学習意欲  
・基礎的基本的な知識、技能の確実な定着  
・習得した知識、技能を活用する力=思考力・判断力・表現力等の育成

## 達成させるための取組

◎朝の活動時間の充実  
・日課表の工夫(心をうるおす読書活動・音読、歌声朝会等の充実した朝の20分)  
・基礎学力の定着(百ます計算、計算・漢字診断テストの活用、音読、「書く」活動)  
・読書活動などの継続、発展で読書力を高める。  
・ワークシートを活用した補充的取組

学校課題 研修主題  
「人とのかかわりを大切にし、共によりよく生きようとする児童の育成  
～国語を適切に表現し正確に理解する力を育成し、伝え合う力を高める指導法の工夫～

日々の授業を大切にした学力向上への取り組み

## 体力を支える活動

◎校内研修・組織運営の充実  
・校内研修の充実(道徳教育を基盤とした体育の授業を通し、人とのかかわりを大切にし、共によりよく生きようとする児童の育成を目指す)  
・一人1研究授業を行い指導力の向上を図る。  
・校内組織(研究部会等)の定期的開催、学力状況の把握と系統的指導の実現を目指す  
・業前体育の充実と教材教具の工夫、開発  
・栄養教諭と連携した食育の推進  
・親子での運動を推奨し、家庭との効果的な連携を図り、運動の生活化を目指す

## 学校を支える活動

◎家庭地域との連携・充実  
・学校応援団による様々なサポート活動の充実  
・保護者や地域への積極的な学校公開・学習状況の伝達による理解、協力、家庭の教育力の向上を図る。  
・「家庭学習の手引き」を配布し、計画的、継続的な家庭学習の取組を推奨し学習の生活化を図る。  
・親子読書の推奨、規律(できたかな)カードによる家庭教育と連携を図り、学習効果を高める。  
・子ども体験活動への参加促進による、豊かで安定した情緒の育成を図る。  
・保幼小との連携(3つのめばえの活用)や小中連携によるスムーズな学校生活への移行を図る。

## 授業を支える活動

◎学習規律の確立と学び方の習得  
・児童の実態に合った指導方法の工夫、改善(ノート指導・少数指導等)  
・評価検討委員会(通知表、教育課程)での評価規準の明確化と指導方法の共通理解(報告・連絡・相談・確認・記録)を確実なものとし、協働体制を確立させ、意識の向上を図る。

①研修を通し教師の意識改革・指導力の向上を図る。  
②体力・心の教育の充実(体育の研修をととして)

①学力の向上に向け(指導方法の工夫・改善・個に応じた学習時間の確保)  
②年間指導計画日課表の工夫・改善

学校評価  
自己評価シート

PTAの協力  
サポート活動

教師

共に  
「生きる力」

保護者

学校関係者評価  
各種アンケート

地域

学校支援ボランティア  
学校応援団

## 豊かな心を支える活動

◎人とのかかわりを通し、心をうるおす時間の充実  
・心をうるおす朝の20分間(朝読書活動の推進)  
・各朝会の充実(音読朝会、歌声朝会、縦割り班活動)  
・自他共に認めあう仲間づくり